



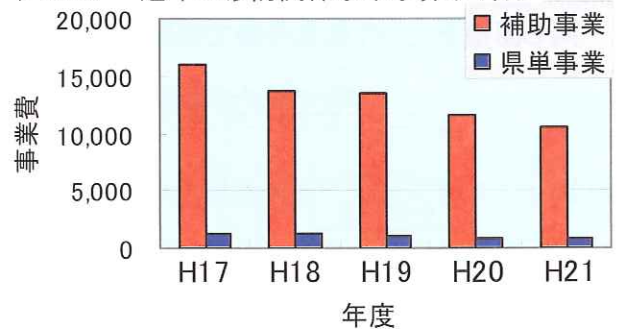
平成21年度砂防関係事業当初予算

(百万円)

	H20年度	H21年度	対前年度比
砂防関係事業費	12,541	11,257	0.90
補助事業	11,684	10,495	0.90
砂防事業	7,521	7,041	0.94
急傾斜事業	3,011	2,411	0.80
地すべり事業	699	590	0.84
基礎調査	453	453	1.00
県単事業	857	762	0.89

※災害関連事業費及び砂防管理事業費等は除く

(百万円) 近年の砂防関係事業予算(当初)

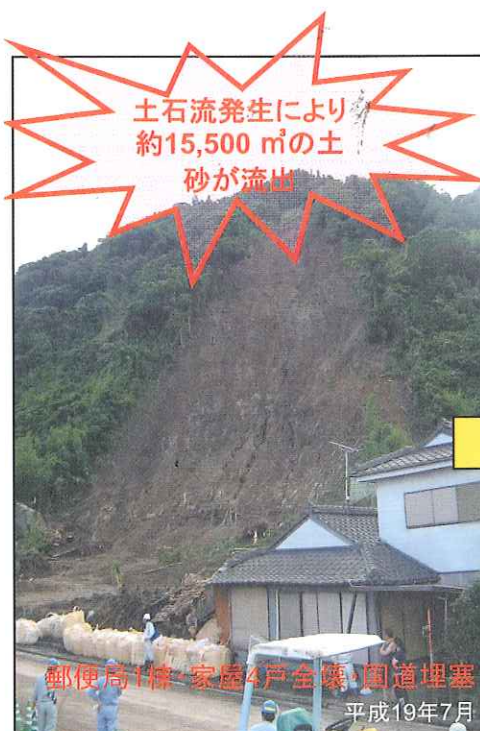


平成19年災の被災地の復旧

平成19年6月から7月の梅雨前線豪雨及び台風4号に伴う豪雨により、大隅半島では多数の土石流やがけ崩れが発生し、その被害は甚大なものとなりました。今回は垂水市二川地区の復旧状況について報告します。

○垂水市二川地区(平成19年7月14日)

二川地区では斜面崩壊に伴う土石流が発生し、約15,500㎡の土砂が流出し郵便局や人家に甚大な被害を及ぼしました。山腹工約6500㎡と高さ7.5mの擁壁により復旧を完了し、下流側の保全を図りました。



近年の鹿児島県内の土砂災害発生状況

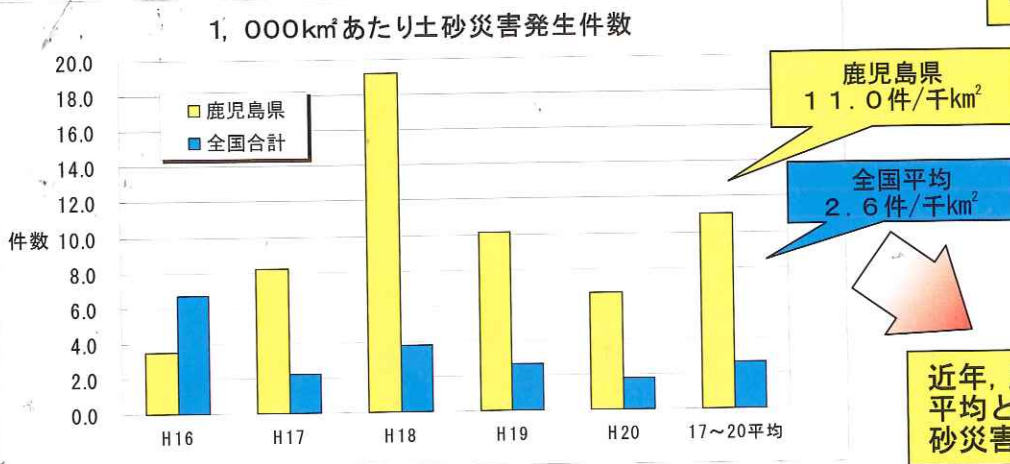
毎年、県内において梅雨前線等に伴う集中豪雨・台風等により、多くの土砂災害が発生し、甚大な被害が発生しております。年によって増減はあるものの、鹿児島県は他県と比較して土砂災害が多く発生しています。このような状況においても、平成19・20年は**事前の避難により1人の犠牲者も出さず**となく、現在(平成21年4月30日時点)も土砂災害による犠牲者ゼロを継続しています。

最近5ヶ年(H16~H20)の土砂災害発生件数及び土砂災害による犠牲数

		H16	H17	H18	H19	H20	合計	H16~H20 平均
鹿児島県	発生件数	32	75	176	93	61	437	101
	1,000km ² 当り件数	3.5	8.2	19.2	10.1	6.6	47.6	11
	犠牲者数	0	5	3	0	0	8	
全国合計	発生件数	2,537	814	1,441	966	695	6,453	979
	1,000km ² 当り件数	6.7	2.2	3.8	2.6	1.8	17.1	2.6

全国の土砂災害の約1割が鹿児島県で発生!
(H16~H20)

同じ面積あたりの発生件数で比較すると...



土砂災害から人命を守るために

土砂災害による人的災害を防止するには、土砂災害に関する情報を確認し、的確に避難をすることが重要です。市町村ごとに発表される土砂災害警戒情報は気象台と共同で発表するもので、テレビのテロップ等で確認することができます。また、ホームページで確認できる土砂災害発生予測情報システムでは、雨量情報や土砂災害危険度指標などを確認し、避難行動に役立てることができます。

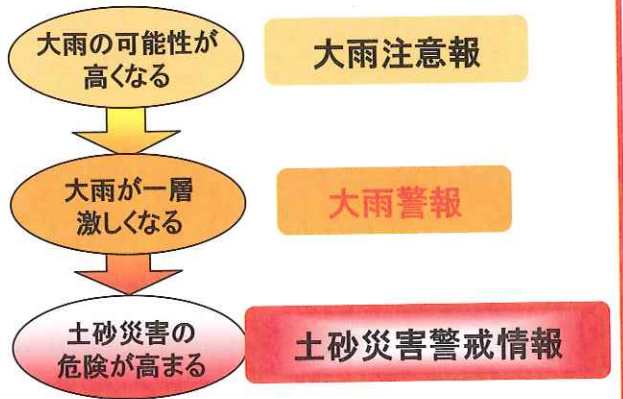
【土砂災害警戒情報】

土砂災害警戒情報とは、大雨により土砂災害が発生するおそれが高まったときに県と気象台が共同で発表する情報であり、市町村長が発令する避難勧告等や住民の自主避難の判断材料として役立てることを目的としています。鹿児島県では全国に先駆けて、平成17年9月1日から土砂災害警戒情報を発表しています。

平成20年の土砂災害警戒情報などの発表回数

	鹿児島・日置	出水・伊佐	川薩・姶良	甕島	指宿・川辺	曾於	肝属	種子島地方	屋久島地方	北部	南部	十島村	合計
大雨注意報	42	44	55	31	41	47	47	51	53	49	42	40	542
大雨警報	9	13	14	6	11	12	17	13	8	8	3	4	118
土砂災害警戒情報 (内土砂災害発生回数)	4 (1)	3 (0)	4 (3)	0 (0)	5 (3)	3 (1)	4 (1)	3 (1)	1 (0)	2 (2)	1 (0)	2 (1)	32 (13回 41%)

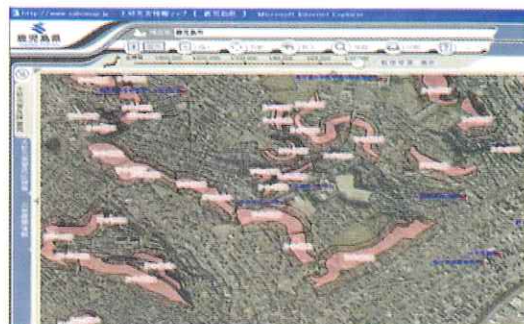
【土砂災害警戒情報の発表まで】



土砂災害危険箇所について

鹿児島県では、17市町村において土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定を進め、ハザードマップやホームページにより周知を図っており、それ以外の地域においても、土砂災害の発生する恐れのある溪流や斜面を「**土砂災害危険箇所**」としてお知らせしています。

市町村防災担当課や県出先機関に備えてある「**危険箇所マップ**」、インターネット上でお知らせしている「**土砂災害情報マップ**」等で土砂災害危険箇所の位置や範囲が確認できますので、お住まいの近くに土砂災害危険箇所がないか、ぜひ一度、ご確認ください。



土砂災害情報マップ(危険箇所)

<http://www.sabomap.jp/kagoshima/>

警戒避難体制の整備が進んでいます！

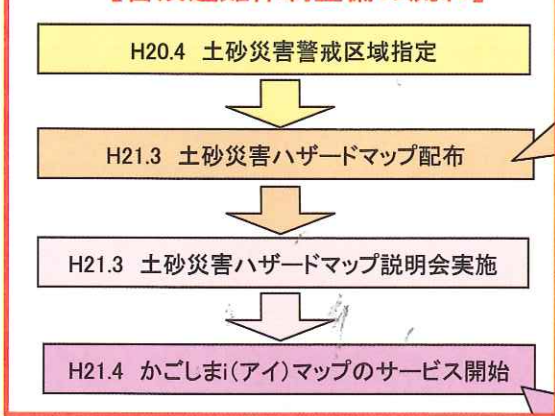
これまで、土砂災害に対する警戒避難体制については、各市町村の防災担当部門の御尽力により、整備が進んでおりますが、今回は鹿児島市における事例をご紹介します。

鹿児島市では、平成20年4月に指定された土砂災害警戒区域について、土砂災害ハザードマップを作成し、平成21年3月、住民の方々に配布しました。

また、住民の方々に、このハザードマップの見方や避難行動のとり方についての理解を深めていただくため、平成21年3月、市内8会場において「土砂災害ハザードマップ説明会」を開催しました。

さらに、平成21年4月、地図を使って様々な施設やエリアの情報を提供する地図情報システム「かごしまi(アイ)マップ」のサービスを開始し、この「かごしまi(アイ)マップ」の中で、防災情報として**土砂災害警戒区域**や、**地域の避難所**などをお知らせしています。

【警戒避難体制整備の流れ】



鹿児島市土砂災害ハザードマップ

これら一連の取り組みは、土砂災害警戒区域の指定を単なる法律上の区域指定に留めることなく、土砂災害の危険性と隣り合わせの住民の方々が、実際に避難行動を起こすための重要な取り組みであり、県内においては先進的な事例であるといえます。



かごしまi(アイ)マップ



新砂防課長挨拶

4月1日に、三上課長の後任で着任しました。

まずは、自己紹介します。出身は三重県四日市市です。前任地は、周りを8県に囲まれ海のない長野県にあります天竜川上流河川事務所で、2年間、日本の屋根といわれる中央アルプス、南アルプスから流出する土砂で「暴れ天竜」の異名をもつ天竜川の砂防事業、河川改修事業、管理を行ってまいりました。鹿児島は、旧建設省の桜島砂防出張所に新規採用されて以来、20年ぶり2度目の勤務です。その後も、平成5年の本省傾斜地保全課係長の時には8.6災害対応に係わったり、平成17年の本省防災課災害査定官の時には第5次査定で実査に入る等、鹿児島県には何かと縁があります。初心に帰り、鹿児島県のために、誠心誠意頑張りますので、どうか、よろしくお願いたします。

さて、鹿児島県内の土砂災害発生件数は最近5カ年において全国の約1割を占め、単位面積当たりの発生件数は全国平均の4倍程度となる等、毎年、土砂災害が多く発生しております。平成19年、20年と土砂災害は発生しておりますが、犠牲者ゼロが続いております。これも、市町村、鹿児島地方気象台等の防災関係機関との連携・協力により、警戒避難体制の整備が進み、早めの避難が行われるようになってきた効果であると考えております。

平成21年度の砂防課の当初予算は約124億円です。財政状況が厳しい中、必要予算が確保されているのも、これもひとえに、国会・県議会議員の先生、市町村長さんのご支援の賜と思っております。今後も引き続き、ご支援賜りますよう、お願い致します。

これから、梅雨・台風の時期を迎えます。与えられた予算・組織・定員をフル活用して、防災関係機関の連携・協力のもと、ハード、ソフト両面からの対策により、土砂災害の防止に努めて参りますので、引き続き、皆様の一層のご支援とご協力をお願い致します。



参事兼砂防課長
伊藤 仁志

H21年度 砂防課職員紹介

課長補佐

新屋 博数
(内3612)



参事兼
砂防課長
伊藤 仁志
(内3611)



技術補佐
(土砂災害防止推進班長)

上大田 孝成
(内3613)



工事事務係

主幹兼
工事事務係長
二川 洋蔵
(内3614)



専門員

寺地 美紀子
(内3615)



主査

脇田 秀和
(内3615)



主事

平 衣織
(内3615)



土砂災害防止推進班

技術主査

久野 聡
(内3621)



技術主査

橋口 哲也
(内3622)



主事

中島 壮志
(内3622)



傾斜地保全係

技術主幹兼
傾斜地保全係長
松元 勇
(内3616)



技術主査

神志那 仁
(内3616)



土木技師

小杉 淳悟
(内3621)



土木技師

坂井 佑介
(内3622)



砂防係

技術主幹兼
砂防係長
北薮 哲也
(内3617)



技術主査

本後 和浩
(内3619)



技術主査

桑水流 剛
(内3618)



土木技師

栗脇 真
(内3618)



編集後記

4月の定期異動により砂防課に配属されました。今後ともよろしくお願いします。

現在、本県においては、土砂災害の発生はあるものの「犠牲者ゼロ」の更新中であり、関係者の皆様のご努力に深く感謝する次第です。未踏の3年連続「犠牲者ゼロ」を目指してみんなで危機管理意識を持って、ハード・ソフトの両輪で今年度もがんばっていきましょう！

さて、今回の砂防メールは新年度号ということもあり、年度当初に皆様に伝えておきたい事項の内容となっておりますが、今後、さらに愛される「砂防メール」を目指して趣向を凝らしながら編集したいと考えておりますので、引き続き愛読いただきますようお願いいたします。

(編集長 技術補佐 U・K)

ご意見・ご感想お寄せ下さい

TEL:099-286-3616 FAX:099-286-5627

E-MAIL:sabou@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島県ホームページ:<http://www.pref.kagoshima.jp/>

土砂災害警報システムホームページ:<http://www.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/>

“みんなで防ごう土砂災害”